

FP 概論		教授 矢島 格	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目	科目ナンバリング	23010202

1. 授業のねらい・概要

F P（ファイナンシャル・プランナー）が必要とする基礎的な知識をわかりやすく説明する。この授業では、パーソナルファイナンスの様々な分野を概括的に説明する。F Pの業務内容を理解してもらい、さらにF P資格取得にも興味をもってもらうことをねらいとする。なお、本科目の履修後に、「パーソナルファイナンス論」の履修を薦める。

2. 講義の進め方

第1回～第2回では、F Pの仕事内容・職業倫理およびF P試験の概要を講義形式で説明する。第3回～第14回では、F Pが必要とする基礎的な知識をF P技能士3級受験用のテキストを使って講義形式で説明する。

なお、適宜、FP 技能士3級レベルの小テストも実施する。最後の第15回では、まとめと復習を行う。

3. 授業計画

1. F Pの業務内容	8. 金融資産運用（2） （投資信託、外貨建て商品、金融派生商品）
2. F Pになるには	9. タックスプランニング（1） （所得税の仕組み、損益通算）
3. ライフプランニングと資金計画（1） （ライフプランニングの手法、社会保険）	10. タックスプランニング（2） （所得控除、申告と納付、住民税）
4. ライフプランニングと資金計画（2） （公的年金）	11. 不動産（1） （不動産取引、不動産関連法令）
5. リスク管理（1） （リスクマネジメント、保険制度、生命保険）	12. 不動産（2） （不動産関連税制、不動産の有効活用）
6. リスク管理（2） （保険と税金、損害保険）	13. 相続・事業承継（1） （贈与と相続、遺産分割と遺言）
7. 金融資産運用（1） （債券、株式）	14. 相続・事業承継（2） （相続税、財産評価、相続対策）
	15. まとめと復習

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。また、F P技能士3級試験の過去問を自習することも奨励する。なお、これらの準備学修には、1時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

F Pに関する基礎知識を理解して、F P技能士3級合格レベルの知識が修得できる。

7. 成績評価の方法・基準

①授業への取組み姿勢（30%）、②課題等に対する内容（20%）、③定期試験の結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

（株）家計の総合相談センター著『F P技能士3級 最速合格ブック 18→19年版』成美堂出版
テキストは、毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

受講の要件は特にないが、F Pの仕事に少しでも関心があることが望ましい。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。